

## 大林沼周辺散策道

### 大林沼周辺の自然観察

- ・ 植物観察
- ・ 大蛇の森（ツタが絡みついた木が密集した森）から、森林の管理の重要性を認識。
- ・ 野鳥観察小屋より、野鳥の観察

（ねらい）自然観察を通じて、自然と人との関わりについて関心をもつことができるようになる。



## 沼でボートに乗り水上からの視点で楽しむ

### ボート漕ぎ、水面からの観察



- ・ 沼の生き物を観察
- ・ 水の入口・出口を探す。  
（沼に入ってくる水はどこからくるか？出て行く水は何に利用されるのか考える）

（ねらい）・ボート漕ぎを楽しみながら協調性を養う。  
・水が生物（人間も含め）どれだけ大切なものかを考える。



移動

## サンデンフォレスト「森の教室」

大林沼の土地利用や問題点について考える（参考）P.W.（水辺編）「みんなのトンボ池」

- ・ 地図を見ながら現在の利用法について知る。
- ・ 白地図に、様々な施設のカードを置きながら、有効な土地活用について話し合う。

（ねらい）

グループでの活動を通じて、土地利用と自然環境への影響について考えを持つことができる。

**指導体制**：指導者1名、指導助手数名 **対象人数**：10人程度

**準備**：Eボート、ライフジャケット、大林沼地形図、施設のカード

**留意点**：水辺のプログラムとしての安全配慮。

参加者の実態（学年）に合わせて内容を選定する。

**プログラムの位置付け**：

**小学校学習指導要領**

**理科 内容**：

3年 B 生命・地球（2）身近な自然の観察

身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。

4年 B 生命・地球 (2) 季節と生物

身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

5年 B 生命・地球 (2) 動物の誕生

魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変わる。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

B 生命・地球 (3) 生物と環境

動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境のかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きている。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。



参考資料

大林沼周辺の現在の土地活用



